

以下の通り表記に誤りがありました。ご迷惑をおかけしましたことを訂正してお詫び申し上げます。

該当刷ページ	該当箇所	【誤】	【正】
初版～2刷 p.20	8行目	国家再建を 疎外	国家再建を 阻害
初版～2刷 p.38	図 A - 1	マムルク朝に代わって	マムル ー ク朝に代わって
初版～2刷 p.44	本文 最終行	以降はマムルク朝の	以降はマムル ー ク朝の
初版～2刷 p.45	2行目 と 図中	マムルク朝	マムル ー ク朝
初版～2刷 p.54	下から4行目	時 を 壁を超える	時の壁を超える
初版～2刷 p.66	本文 下から7行目	堰を切ったかように	堰を切ったか の ように
〃	本文 下から2行目	エンヴェル 大 佐	エンヴェル 少 佐
初版～2刷 p.80	本文 下から3行目	本国と中近東と鉄道で繋ぐ	本国と中近東と を 鉄道で繋ぐ
初版～2刷 p.91、p.92、 p.93、p.95		フェルナ ン ド＝マリ＝ド レセップス	フェル ディ ナン＝マリ＝ド レセップス
初版～2刷 p.93、p.101	借金のイラスト下	債 権 国家	債 務 国家
初版～2刷 p.94	本文 下から9行目	フェルナ ン ド マリ F . M . ド＝レセップス	フェル ディ ナン マリ F . M . ド＝レセップス
初版～2刷 p.100	(* 13) 2行目	いざ開通してみ て たら	いざ開通してみ た ら
初版～2刷 p.102	本文 5行目、17行 目、下から3行目	ライオ ネ ス	ライオ ネ ル
〃	13行目	やぶ さ か 吝 か	やぶ さ 吝 か
〃	(* 15)	引き渡すことを約束 を した	引き渡すことを約束した
〃	(* 16)	凡そ5～8万円くらい	当時の1ポンド は凡そ5～8万円くらい
初版～2刷 p.112	図 A - 1	チャールズ＝ジョージ ゴードン 18 6 4 - 82	チャールズ＝ジョージ ゴードン 18 7 2 - 82
〃	図 C - 3	ムハンマド＝アフマド 17 7 4 - 85 . 6/22	ムハンマド＝アフマド 18 4 4 - 85 . 6/22
〃	図 D - 3	マフディーの乱 1881. 6/29 - 18 9 8	マフディーの乱 1881. 6/29 - 18 9 9
初版～2刷 p.116	本文 下から2行目	マ ス ディー教国	マ フ ディー教国
初版～2刷 p.122	11行目	は つ だつ 剥奪	は く だつ 剥奪

初版～2刷 p.124	6行目	パフレヴー朝が	パフレヴィー朝が
〃	本文 下から3行目	社名も「BP」に改称	ビービー 社名も「BP」に改称
初版～2刷 p.132	図 A - 1	25歳以上	25歳以上の 成年男子
〃	図 B - 1	1906. 10/7 - 07. 6/23	1906. 10/7 - 08. 6/23
〃	図 C - 3	1907. 6/11 戒厳令	1908. 6/11 戒厳令
初版～2刷 p.132～p.133	図 B - 3	第2部 [全107条]1907.10/8	第2部 [全107条]1907.10/8 国会通過(皇帝は署名拒否)
初版～2刷 p.134	3行目、12行目	テイグオ 帝国	テイグオ 帝国
初版～2刷 p.135	(* 04)	1905～11年の「ヴィッテ・ストルイピン 改革」による。	→ 削除
初版～2刷 p.136	下から4行目	翌 9 月には「第一会議」	翌 10 月には「第一会議」
初版～2刷 p.137	9行目	その 6月には	翌1908年 6月には
初版～2刷 p.138	2行目	「第一立憲制」はわずか8ヶ月で	「第一立憲制」はわずか 1年 と8ヶ月で
初版～2刷 p.142	14行目～15行目	案の定、議会を制圧したその翌々月 (1907年8月)にはカージャール朝は 英・露によって分割されてしまいます。	案の定、ムハンマド=アリーが即位して 1年と経たぬうちにカージャール朝は 英・露によって分割(1907年8月)されて しまいます。
初版～2刷 p.143	下から4行目	エテダービー 穏健派	エテダーリー 穏健派
初版～2刷 p.146	図 A - 3	インド人が 反攻 できないよう	インド人が 反抗 できないよう
初版～2刷 p.147	図 C - 5	第1回 全印国民協会	第1回 全印国民協 議 会
初版～2刷 p.148	(* 02)	「劣等国」呼ばれて	「劣等国」と呼ばれて
初版～2刷 p.149	イラスト横	インド人が 反攻 できないよう	インド人が 反抗 できないよう
初版～2刷 p.149	(* 04)	1877 年 代から	1877年 から
初版～2刷 p.156、p.160	図中	ギルバート=エリオット=マーレイ=キニンマウン ミントー伯爵	ギルバート=エリオット=マーレイ=キニンマウ ン ミントー伯爵
初版～2刷 p.159	(* 04)	「カーゾンラインはふたつあり	「カーゾンライン」はふたつあり
〃	(* 05)	国民議 会派を	国民会 議派を
初版～2刷 p.167	(* 05) 2行目	「ラージー」は	「ラージー(ラジ とも)」は

初版～2刷 p.170	下から3行目	インド国民 議 会の	インド国民 会 議の
初版～2刷 p.175	(* 04)	1912 ～ 13年の	1911 ～ 1912年の
初版～2刷 p.176	3行目	そこで 1912年、帝都を	そこで 1911年、帝都を
〃	5行目	同年 、中国では	年明け早々 、中国では
初版～2刷 p.186	コラム1行目	い い しゅんじゅん 依 違 遡 巡	い い しゅんじゅん 依 違 遡 巡
〃	コラム12行目	(イギリス) (ドイツ) 東軍と西軍のどちらに	(ドイツ) (イギリス) 東軍と西軍のどちらに
〃	コラム 下から5行目	黥布は使者を 生きて 帰すわけに	黥布は使者を 生かして 帰すわけに
初版～2刷 p.194、p.203	図中	ウォルター＝ライオネル ロスチャイルド	ライオネル＝ウォルター ロスチャイルド
初版～2刷 p.200	枠内	イギリス統治領： ヨルダン 勢力範囲： イラク中南部	イギリス統治領： イラク中南部 勢力範囲： ヨルダン
初版～2刷 p.200	本文 下から3行目～	・仏代表：F. M. D. G. ピコ (*08) (A/B-5) …は、さながら“略奪品を山分けする 山賊”が如し。 ~~~~~ (*08) 現在にまで中東紛争の元凶の ひとつとなった「サイクス＝ピコ協定」の 中心人物でありながら 、この10年後に 「ノーベル平和賞」を受賞しています。	・仏代表：F. M. D. G. ピコ (A/B-5) …は、さながら“略奪品を山分けする 山賊”が如し (*08)。 ~~~~~ (*08) 現在にまで つづく 中東紛争の元凶 のひとつとなった「サイクス＝ピコ協定」 当時の仏首相ブリアンは 、この10年後に 「ノーベル平和賞」を受賞しています。
初版～2刷 p.201	8行目	どれもこれ聞くに堪えない	どれもこれ も 聞くに堪えない
初版～2刷 p.203	図 左端	赤い斜線 のとこだな？	斜線のとこだな？
初版～2刷 p.206、p.209、 p.214	図中	エレフ セ リオス ヴェニゼロス	エレフ テ リオス ヴェニゼロス
初版～2刷 p.206	図 A - 2	赤斜線 部分	斜線部分
初版～2刷 p.208	6行目	くつが 戦況は覆すこと	くつが え 戦況は覆すこと
初版～2刷 p.213	左下の解説	トルコ国民 会 議	トルコ 大 国民 議 会
初版～2刷 p.219	10行目	防衛 戦 を築いて	防衛 線 を築いて
初版～2刷 p.226	2行目	こうして、 632 年という永きに	こうして、 623 年という永きに
初版～2刷 p.232	本文 下から3行目	口出し させ ないように	口出し でき ないように
初版～2刷 p.237、p.239、p.240、p.271、p.300、 p.303		ケマル＝アタ チ ュルク	ケマル＝アタ テ ュルク
初版～2刷 p.273、p.275、 p.280	帰国してきた傷病 兵のセリフ	俺たちは は インド人は	俺たち は インド人は

『世界史劇場 オスマン帝国の滅亡と翻弄されるイスラーム世界』 正誤表

2024/7/4 現在

初版～2刷 p.278	1行目	まか 賄うために	まかな 賄うために
初版～2刷 p.284、p.286	図中	チェムスフォード子爵	チェルムスフォード子爵
初版～2刷 p.288	本文 下から3行目	ごちゃごちゃ吐かて	ごちゃごちゃ吐かして
初版～2刷 p.301	図 D - 4	1937 ～ 努力	1932 ～ 石油利権の国有化に向けて 尽力
初版～2刷 p.307	縦書き解説 2行目	イタリアはエチオピア侵掠を	イタリアがエチオピア侵掠を
初版～2刷 p.320	3行目	寄り道ながら	寄り道しながら
初版～2刷 p.326	11行目	悪名を轟かせることなる	悪名を轟かせることとなる
初版～2刷 p.329	5行目	信仰は名目化して	信仰が名目化して